

すなお

令和2年12月号

おやのことば

身上不足ありて

何の楽しみ無い。

不自由から見れば、

どんなたんのうも出る。

明治二八年十一月十四日



すなお (立教183年12月号)

通巻 No.725
発行所 天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
☎ 0898-23-5004
FAX 0898-23-5123
発行日 2020.12.16
責任者 二宮英治

会長

今年の正月には、あんなこともこんなこともさせてもらおう！と心明るく目指していました。しかし、残念ながら皆様ご承知の通りほとんどの事が出来なままに年末を迎えることになってしまいました。さあ、親神様の思惑はどこにあるのでしょうか？ 私たちは決して科学者でも医学者でもありません。ですから信仰者として今回の大節を信仰者の視点で見ることが大切です。

一つには世界中の動きが止まりました。この世界で誰が止めようとしても止まらない動きを新型コロナウイルスという目に見えないウイルスが止めたのです。今、パソコンやスマートフォンがあれば世界中のどこからでも買い物が出来る時代になりました。本当に結構です。ありがたいことです。しかし、「欲に切り無い泥水や」と仰せ下さるよう有るが上にも、もつともつとと際限のない欲望に埋もれてしまっています。観光にしても贅沢の上にも贅沢をし、上が見えないような状況にもなっていました。こうした姿にブレーキをかけられたのではないのでしょうか？

また、感染することによって時には命に関わる事態になる恐れがあるから、それぞれの心が非常に過敏になり自分を守るためにマスクや薬を買い漁り、その上にこれを転売して一儲けしようという輩も出てきました。

(次ページへ)



成人を楽しみに

田中道則

今年1年を振り返ってみて、自分の身の回りや世界にいろんな事が起こりました。人生とは本当に目まぐるしく退屈しないものだと思う今日この頃です。

今年の4月に2人若い新人が入社し、毎日頑張っています。入った時は体力も腕力もなくすぐへばっていた子達が、仕事を覚えしっかり戦力になっていく姿を見て、とても嬉しい気持ちになります。

これと同じく今年1年の成人をおやさまも楽しみに見て下さっていることがわかります。令和3年も人を育て自分も成長していく1年にしたいです。



立教184年 元旦祭



明くる年、1月1日午前5時より元旦祭をつとめさせていただきます。例年のように皆様と共にとおつとめをさせていただきたいと思いますが、最近のコロナ感染拡大の状況を踏まえ役員会議をさせていただき、その結果信者さんの家族が関西圏から帰省してくる現状を考えると帰省した本人も対象になりますが、その家族も共に生活をして正月を迎えることとなります。

お互いにとっての万全を期す意味において元旦祭は教会家族と役員のみでつとめさせていただくこととなりました。

それで教会への参拝は時間を変えて家族ごとにつとめていただきたいと思います。よろしくお願いします。

教会ニュース

元旦祭御供物

元旦祭の御供物を一台からでもさせていただいて下さい。事前に連絡をいただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

年末行事について

- ・今年のお餅つきは中止とさせていただきます。
- ・神殿大掃除は30日の夕勤め後にさせていただきますので、ひのきしんお願いします。

本当に人の心のほこりな部分もよく見せていただきました。さらに教会活動において最重要とされる「おつとめ」のつとめ方においても、いろいろ勉強させられることも多かったです。朝夕のおつとめに始まり、各家庭での講社祭、教会での月次祭をどのようにつとめるのが良いのか、。、。百点満点の答えなどありません。でも、今年ほどおつとめのつとめ方に關して練り合いを重ねたこともありません。そして、本部祭典に参拝させていただいた時に本来のおつとめの姿を経験させていただきました。これもコロナのおかげです。

新年を迎えても当分今の状況は変わらないと思います。けれども来年は覚悟をもつて迎えることは出来るでしょう。そして、一生懸命に生きてきた今年を後々の話のたねに出来るようにしたいと思います。私は自肅生活をたびたびさせていただきました。でも、そのおかげで今まで長年に亘つて心にかかっていた懸案を解決することも出来ました。年の初めには到底想像も出来なかったことです。

それぞれの立場や仕事によって、来年に通るべき状況は様々だと思います。逃げてでも避けても通らなければならぬことは通らなければなりません。しかし、どんなことも親神様の陽気ぐらしをさせてやりたいとの深い思惑があつて通らせていただく事と心に定めておけば、必ずや通り抜けることが出来ます。決して我が身を一番にすることなく、人たすける心をもつてつとめさせていただいて下さい。

今年一年、ならぬ中を真実におつとめいただき本当にありがとうございます。



今年を振り返り

椿 信代

2020年もあと1ヶ月を切り、一年を振り返る季節がやって来ました。

昨年の今頃、来年はオリンピックもあるし賑やかな一年になりそうだなあと想像していたことが遥か昔のことのようです。今年は世界的にも大変な一年になってしまいました。

残念ながら、私もさすがに今回は年末年始の帰省を自肅することに決めました。家族に会えない正月は初めてで少し寂しいですが、今は皆が元気で生きていくことの方が大切です。決していい一年だったとは言えないかもしれませんが。それでも全てが悪いということもありません。日々の嬉しかったことや喜びを思い出しながら、今年を締めくくりたいと思います。

また来年、明るい心で迎えられますように。今年も一年ありがとうございました。